

出張報告書

平成27年11月 5 日

市議会議長 様

会 派 名 自民クラブ

代表者氏名 井上 源次

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 全国都市問題会議出席のため
- 2 出張先 長野県長野市
- 3 出張期間 平成27年10月 8 日～平成27年10月 9 日
- 4 出張者氏名 反甫 旭
- 5 てん末報告 別紙のとおり

テーマ：「都市の魅力づくりと交流・定住 ー人口減少社会に立ち向かう 連携の地域活性化戦略ー」

【第1日目】

○基調講演

田部井 淳子 氏（登山家） 「世界の山々をめざして」

○主報告

加藤 久雄 氏（長野県 長野市長） 「活き生きながの元気な長野～人口減少の克服に向けて
オール長野の力を結集～」

○一般報告

清水 慎一 氏（立教大学観光学部兼任教授、観光地域づくりプラットフォーム推進機構会長）
「コミュニティ政策と都市内分権」

太田 稔彦 氏（愛知県 豊田市長） 「地域資源を活かした連携によるまちづくり」

セーラ マリ カミングス 氏（株式会社文化事業部代表取締役） 「一五輪一会」

【第2日目】

○パネルディスカッション

<コーディネーター>

辻 琢也 氏（一橋大学副学長、同大学院法学研究科教授）

<パネリスト>

小嶋 光信 氏（両備グループ代表兼 CEO）

久繁 哲之介 氏（地域再生プランナー）

橋本 純一 氏（信州大学全学教育機構基幹教育センター教授）

太田 昇 氏（岡山県 真庭市長）

菅 良二 氏（愛媛県 今治市長）

まとめ

・スポーツ振興

報告を受けた豊田市では 2019 年に開催されるラグビーワールドカップを豊田スタジアムに誘致しさらなる国際化に向けた取り組みを進めている。また、長野県や愛媛県でも J リーグのクラブがあり、それを核として夢のあるまちづくりを考えているようである。

大阪でも東大阪市にある花園ラグビー場でラグビーワールドカップの開催が決まっている。今年行われたワールドカップでの日本代表の活躍で注目があるので本市においても国際化に向けて取り組む価値があると考ええる。また、サッカーにおいては大阪府内にセレッソ大阪とガンバ大阪の 2 クラブがある。本市においては BMX などの施設もある。1 つの競技にとらわれず、他市とも連携し、交流人口が増加すれば本市にも活気が出ることにつながるのではないかな。だからこそ、大きな視野で戦略的に取り組み、時代に応じたスポーツ振興施策を行うことが必要であると考ええる。実際に長野県ではアジア系の観光客より、欧米の観光客の多さが目についた。それもオリンピックの開催が影響しており、観光とスポーツは密接な関係にあることを感じた。

・人口減少

長野市長の主報告は少子高齢化・人口減少対策が大きなテーマであった。ユニークな市長であったが、人口減少に対する危機感が感じられた。本市においても人口が減少し、20 万人を切ったところであり、その課題には全力で立ち向かわねばならない。

報告の中で印象に残っていることが「公共交通を整備してほしいと依頼した人が車をよく使っている。」「人口減少が課題だと言っている人の家族が東京で暮らしている。」と冗談まじりに言っていたことである。確かに将来のことを真剣に考えている市民も多い

が、なかなか行政のことで普段の生活が結び付いているかと言え、そうではない。市民の意見もしっかりと踏まえ、協働でまちづくりを行っていかねばのれんに腕押しという結果になるのではないか。